東京都議会議員 **早坂よしひろレポート**

発行
都議会自民党

災害の復旧復興で大切な「つながる」こと。

早坂 本日は防災士研修センター代表の玉田太郎さんにお話を伺います。まず、防災士とはどんなものでしょうか。

玉田 防災士とは、NPOが認証する資格で、家庭や地域・職場といった身近な場所で、自助・共助のリーダーとなることが期待されます。防災士となるためには、研修と試験を受けて頂くことが必須で、そのための研修機関が私ども防災士研修センターです。実は早坂さんが都議初当選前の平成15年に、阪神淡路大震災当時の内閣官房副長官だった石原信雄さんの下で防災士の制度（NPO法人日本防災士機構）を作り、次にその研修機関である防災士研修センターを作り、初代の代表となりました。早坂さんがスタートさせた防災士は、今では全国で28万人規模となっています。

早坂 ありがとうございます。民間資格ながら、東京都教育委員会は都立高校生を対象にした防災士研修を開催し、これまで660人が資格取得をしています。このように全国の自治体が防災リーダー育成のために、防災士を活用しています。では本題の能登半島地震について「つながる」をテーマに伺って参ります。

玉田 元日に発令された大津波警報の直後、早坂さんから「今から支援に行こう」とお電話を頂きました。そこですぐさま支援のための装備を整え、能登へ向かいました。私はこれまで、早坂さんとのつながりで何度も被災地での支援活動をさせて頂いております。今回も支援の手が全く届いていない段階で、混乱する自主避難所の運営のアドバイスをするなど、皆さまのお役に立てたのは本当に良かったです。また発災直後の被災地の状況をつぶさに知ることが出来たのは、今後の防災士研修に役立つものでした。ただし、発災直後は余震などの危険を伴いますので、経験のない方が直ちに被災地に向かうことには賛成できません。

穴水町の自主避難所で現況調査（1月3日）

早坂 最初の「つながる」は通信です。能登の通信環境はいかがでしたか。

玉田 私のドコモ端末には充電はたっぷりありましたが、ずっとつながらないままでした。なぜなら携帯電話の基地局が被災してしまったからです。防災士研修では、停電した際でも携帯電話が使えるように、乾電池からの充電器などをご自身で用意しておくべきだと話していますが、基地局が被災した場合のことは考えておりませんでした。

早坂 イーロンマスクさんの「スターリンク」をご存知でしょうか。地上からの高度550

〈裏面へ〉

株式会社 防災士研修センター 代表取締役

玉田太郎×早坂よしひろ

●プロフィール／一般社団法人 令和防災研究所エグゼクティブフェロー、明治大学公共政策大学院にて富士山噴火を研究中。

東京都議会議員 早坂よしひろレポート
都政報告
Hayasaka Report 2024.2
発行 都議会自民党

東京都は新年度予算で、都内62区市町村すべてに移動式のスターリンクを配布。

キロに、世界中で5000機の低軌道衛星が打ち上げられています。地上に用意したパラボラアンテナをそこに向ければ、専用ルーターの周辺はWi-Fiのように通信が出来るのです。今回、東京都は輪島市に移動式のスターリンクを持ち込み、とても役に立ちました。そうしたことから東京都は新年度予算で、都内62区市町村すべてに移動式のスターリンクを配布することとしています。

玉田 ウクライナ戦争で基地局が破壊されて通信環境が壊滅した中で、このスターリンクが大活躍したと聞きました。調べてみると、1機1億円もするような最高機能のものから、わずか5万円程度で買えるものまであるようです。いざという時に大変役に立つものですし、せっかく早坂さんから教えて頂いたので、防災士研修で紹介しようと思います。

移動式スターリンクは
Wi-Fi のように通信が出来るのです。

早坂 ふたつ目の「つながる」は道路です。今回の震源地が半島の先端だったことで、道路が寸断されて支援の手が行き届かない孤立集落が発生しました。

玉田 早坂さんの杉並区などでは、どこでも複数のルートがありますので孤立集落が発生することは考えにくいですが、道路が寸断すると支援に大きな影響があることは同じです。

早坂 発災時の救助や支援の大動脈となるのが、幹線道路です。杉並区内では7つの道路(※)が特定緊急輸送道路に指定され、そこに面した建物の耐震化を強く推し進めてきました。もし1棟でも倒壊し道路をふさいでしまったら、その道路は機能しなくなってしまうからです。しかしながら令和3年3月現在、杉並区内の特定緊急輸送道路沿道建築物で耐震性を有しているものは84%に留まっています。耐震性が不十分と見込まれる建物199棟に対し、実効的な働きかけが必要です。

輪島市で被災状況調査（1月3日）

※杉並区内の特定緊急輸送道路と耐震性が不十分と見込まれる建物数

青梅街道	95 棟
環状 8 号線	37 棟
井の頭通り	26 棟
環状 7 号線	21 棟
甲州街道	15 棟
新青梅街道	5 棟
首都高速 4 号線	0 棟

なお199棟とは、あくまで7つの道路沿いのものであり、杉並区内全体の耐震化率は87%で、1万5000棟の建物に耐震性が不十分と見込まれています。

玉田 多くの死者を出した輪島市の耐震化率は55%、珠洲市は51%と、耐震化が遅れていました。

早坂 みっつ目の「つながる」は心です。今回の能登半島地震では、私のところにも、ボランティアのお申し出をたくさん頂きました

玉田 そう、ボランティアの力は本当に大きいです。倒壊した家屋の後片付けは、被災した本人だけでは限界があります。「困った時はお互いさま」という心と心のつながりが、どれほど復旧復興の役に立ってきたことか。支援に伺う度に、そのことを痛感します。ただ今回の受け入れには（例えば能登町では2月8日から）時間が掛かったことに、研究の余地があると思います。

穴水町で支援活動（1月3日）

早坂 「災害の発生そのものは防げないが、そこでの被害は減らすことが出来る」。かつての防災士研修で、私はそう訴えて参りました。そのためには家庭や地域・職場での身近な防災リーダーが必要だとの思いを、能登の支援に伺い、改めて強くしたところです。今後ともよろしくお願いします。

バックナンバーはホームページをご覧下さい。

- ジャパンタクシー編
- デジタル化編
- お口と健康寿命編
- 新型コロナ編
- 都市型水害編
- 高齢者の健康編
- オリパラのレガシー編
- AED（突然死救命）編
- 男の子育て編
- ロボット手術編
- オリンピック編
- 緩和医療編
- 高齢者の住まい編
- 災害関連死編
- 液体ミルク編
- 首都直下地震編
- 被災地の復興編

早坂よしひろ
ミスター防災

プロフィール

- 1968年 荻窪の東京衛生病院生まれ（55歳）
- 西田幼・西田小・松渓中卒業、大検合格
- 立教大学法学部（北岡伸一ゼミ）卒業
- 働きながら明治大学公共政策大学院（青山佾ゼミ）修了
- 防災情報機構 NPO 法人事務局次長として全国講演
- 2005年 東京都議会議員に初当選（現在 5 期目）
- 都議会では予算特別委員長など歴任
- 明治大学客員研究員　●日本ＡＥＤ財団常務理事

＜災害調査＞
米国 ハリケーンカトリーナ、
中国 四川大地震　他、国内外多数。
東日本大震災では発災当日に被災地入りし、支援活動を行う。

ホームページ

皆さまのご意見をお寄せ下さい。

早坂よしひろ事務所：〒167-0051 杉並区荻窪 5-18-11-202　☎03(3220)0411　hello@tokyo-hayasaka.com